

マ×柴のライスは、柴犬の
小型犬なので、小ぶりけれど
これ以上は大きくなありません。



実家で柴犬を飼っていた

の温湯に10分ほど浸し、
塩水選。次に、60℃

よいよ本格的に始まりました。今年の種まきは4月の7日8日ごろ。ちょうど田尻町の加護坊山でさくらまつりが始まる頃です。下旬になると、山では一千本

以上の桜が咲き、パーゴルフの全国大会も開催され、たくさんの人たちで賑わいます。

ければなりません。

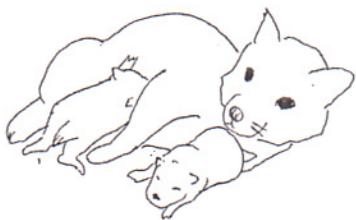
稻作は、種まきから始まる訳ではありません。秋、最も良い時期に稻刈りができるよう、種をまく前にスタート

「種まきまでの作業」
に稻刈りができるよう、種をまく前にスタート

平成17年
4月号
Vol. 25

次回の田尻便りは
5月発行予定!

そんなライスがある日突然 小犬を生みました。それも みれなビックリ!!



オスが一匹、メスが一匹
生まれたので、それを
「玄」と「白」と名付けました。

米暦 ~こめごよみ~

3月11日 種もみの塩水選・温湯消毒をしました。

3月22日 育苗用の山土を運びました。

3月22日 土合わせをしました。
(土に有機肥料や活性炭を入れてよく混ぜ合わせます)

現在、種もみは浸水中です。

嫁日記

小野寺家にお嫁に来て、早3年が経ちました。今でもよく、「こっちの言葉には慣れた?」と聞かれます。

基本的な語尾の変化や発音の違い、イントネーションなどは随分慣れたつもりですが、例えばカエルの事をピッキ、ふきのとうをバツ

ケ、でたらめな事をアペトペなど、もはや原形をとどめない単語も多く、幼児語(おすわりをジャンコ、など)に至ってはもう何が何だか ***

けれども、本当に分からるのは、おじいさんおばあさんの言葉。一緒に暮らしてきた皇貴さんですら分からないのだから、私に分かるはずもないのですが…。

絵と文/小野寺ひかる。

